

si カナダ日本語教育振興会 2019 年度年次大会
CAJLE Annual Conference 2019
Conférence annuelle CAJLE 2019

表現リテラシー：コミュニケーションから考える多文化社会の日本語教育
“Hyōgen” Literacy: Exploring Japanese Language Education in a Diversifying Society from the
Perspective of Communication
Compétences “Hyōgen”: Explorer l’enseignement de la langue japonaise dans une société
diversifiante du point de vue de la communication

於：ブリティッシュ・コロンビア州ビクトリア市ビクトリア大学
University of Victoria, Victoria, British Columbia
Université de Victoria, Victoria, Colombie-Britannique
8月6・7日 / August 6-7 / 6-7 août

—協力 / **Conference Supporters / Support du colloque**—

Consulate-General of Japan in Vancouver
The Japan Foundation
University of Victoria
Centre for Asia-Pacific Initiatives, University of Victoria
Department of Pacific and Asian Studies, University of Victoria
Division of Continuing Studies, University of Victoria
Faculty of Humanities, University of Victoria
Prince Takamado Japan Centre for Teaching and Research
The Canadian Association of Second Language Teachers
Nippon Express Canada
Kintetsu International Express (Canada) Inc.
Blue Tree Management Ltd.
Sen Zushi Japanese Restaurant
Victoria Nikkei Cultural Association

—**Media Support**—

Vancouver Shinpo
Fraser Monthly

—**書籍販売 / Book Fair / Salon du livre**—

OCS Canada (Nihongo Circle)

【基調講演】

演劇的手法を使ったコミュニケーション教育の進展

平田オリザ氏（劇作家・演出家・青年団主宰、大阪大学 CO*デザインセンター特任教授、東京芸術大学 COI 研究推進機構特任教授、国際観光芸術専門職大学（設置構想中）学長候補者）

【教師研修 I】

教室を超えた言語教育: コミュニケーションの機会を作り活用するために

Wendy Carr 氏（ブリティッシュ・コロンビア大学・カナダ第二言語教師会）

【教師研修 II】

ソーシャルメディアの自己表現

村上吉文氏（国際交流基金・アルバータ州教育省）

【教師研修 III】

言語教育に演劇的ワークショップを導入する意義 - 理論と実践

平田オリザ氏（劇作家・演出家・青年団主宰、大阪大学 CO*デザインセンター特任教授、東京芸術大学 COI 研究推進機構特任教授、国際観光芸術専門職大学（設置構想中）学長候補者）

【口頭発表とラウンドテーブル】

1. 日本語自然会話における文末表現としての「だ」
西寛典（メンフィス大学）
2. Teaching Japanese gendered language: Effects of pragmatic-focused instruction
Mai Takeuchi (Purdue University)
3. Does the 'intransitive stage' exist in Japanese-speaking children?: Acquisition of morphologically-related transitive and intransitive verbs in Japanese
Yuhko Kayama (University of Manitoba), Yuriko Oshima-Takane (McGill University)
4. 学習者の多様な学びを支える日本語教育
高橋朋子（近畿大学）
5. 地域住民による外国人児童生徒の支援の意義と可能性—支援者へのインタビューから—
野原ゆかり（獨協大学）
6. 言語の多様性に対する意識の変容—小学校における活動の事例研究—
米本和弘（東京医科歯科大学）
7. 「質問づくり」を用いたプレゼンテーション作成
世良時子（成蹊大学）
8. 初級後半と中級後半におけるスキットアクティビティを用いた日本語学習の実践報告
宮内俊慈，鹿浦佳子（関西外国語大学）
9. 多文化理解授業のための演劇作成の可能性
印道緑（北九州市立大学）

10. 次世代の日本語教員のための教育評価—日本の教育評価研究における理論的考察—
安達万里江（京都外国語大学）
11. 多様な背景の学習者とコミュニケーションが取れる教師力養成
松岡洋子（岩手大学），足立祐子（新潟大学）
12. 継承日本語学校の教師が他校の教師とつながるプロセスのモデル試案
瀬尾悠希子（獨協大学）
13. 継承日本語話者である大学生の読解プロセスに関するケーススタディ
金山泰子，藤本恭子（国際基督教大学）
14. 「自分の声」を探して：初級日本語クラスにおける「多聴」の取り組み
ナズキアン富美子，津田麻美（コロンビア大学）
15. シャドーイングとリピーティングが中級日本語学習者のスピーキングスキルに及ぼす効果—流暢さ・正確さ・複雑さを指標として—
王校偉，柳本大地（広島大学）
16. 日本語学習者と母語話者における口頭非流暢性の比較研究
広谷真紀（ローズハルマン工科大学），松本一美（ボールステイト大学），深田淳（パデュー大学）
17. 日本語クラスにおけるナレーション導入効果の検証—カナダと日本の大学における教室活動—
王伸子（専修大学），シャープ昭子（カルガリー大学）
18. 教科書から少し離れてみませんか：日本語二年生におけるプロジェクトを軸にしたカリキュラム改訂
佐藤京子，マッキー望月まゆみ，丸山理恵（カリフォルニア大学サンディエゴ校）
19. 多文化社会における表現リテラシーを考える—学習者の日本語をどこまで許容するか—
高梨信乃（関西大学），前田直子（学習院大学），高橋美奈子（四天王寺大学）
20. 国際ボランティアとタイ中等教育における音声教育の現状と課題
—一人ひとりが楽しみながら語学力を高め合える環境を求めて—
久和野崇司（専修大学大学院文学部日本語日本文学専攻）
21. 日本語教育における音声教育の再考
高村めぐみ（愛知大学国際コミュニケーション学部）
22. フローチャート形式のピアフィードバックを利用したスピーチ表現リテラシーの養成
中北美千子（名古屋外国語大学）
23. リテラチャー・ワークショップの授業実践—日本文学をデジタル媒体を通して学ぶ—
張硯君（大阪大学）
24. 日本の伝統文化体験から得られる学習者の気づきと教師の役割
森川結花（甲南大学），永須実香（上智大学）

25. 国際共修における相手言語接触場面のインターアクション：計量的・内容的分析から見えてくること
竹井光子, ジャナ・マリ・タウンゼント (広島修道大学)
26. 教室内でのインタラクションに於ける学習者感情の多元的分析
—ビネット調査を通じた多様な学習者の感情資本に着目して—
野瀬由季子 (大阪大学), 守屋亮 (早稲田大学)
27. 英語圏大学の日本語コースにおける漢字圏学習者と非漢字圏学習者の共生
根本菜穂子 (マウントホリヨーク大学)
28. 全員レビューを用いた研究計画書クラスの実践報告
鈴木秀明 (目白大学)
29. 人間と機械の「協働」によるライティング・フィードバック
田中真理 (名古屋外国語大学), 坪根由香里 (大阪観光大学)
30. 敬語接頭辞「お・ご」のパラダイムに基づく分析と言語教育への応用
藤原美保 (ウィラメット大学), 深沢はるか (慶應義塾大学), 北原真冬 (上智大学)
31. 中国人初級学習者の発話の日本語らしさに関する日本人の評価
—CV音節長のコントロールに基づく発話データから—
藤田守 (拓殖大学北海道短期大学)
32. 日英母語話者の事態把握の異同における日本語習得の再考—受動表現の産出を中心に—
鄭在喜 (早稲田大学)
33. 実践報告：目上の方とのEメールのやりとりで見られた日本語学習者の敬語表現
岩田園美コンスル (マクマスター大学)
34. プロジェクト型協働作文活動を通してみる相互作用と作品・学習者への影響
野口潔 (上智大学), 田辺和子 (日本女子大学), 大須賀茂 (シートンホール大学),
岡田彩 (オクラホマ大学)
35. 中級前コースへのリレー式物語創作活動の導入
水戸淳子 (香港大学)
36. Maximizing Communicative Competence of Foreign Language Learners in Academy: Examples of the Japanese as FL learners from Vancouver Canada
Meilan Piao Ehlert (Simon Fraser University)
37. ビジネスプロセスコミュニケーションの指導法の探求
尾崎学 (開南大学)
38. 聞き手のストラテジーに着目した、インタビュープロジェクト
大塚明子 (専修大学), 竹井尚子 (サイモン・フレイザー大学)

【ポスター発表】

1. 日本語独学経験者が教室学習に求めているものとは
安達いづみ（サスカチュワン大学）
2. 日本語背景を持つ子どもの親が捉える幼児の発達課題
秋山幸（早稲田大学大学院日本語教育研究科）
3. 日本語の実例に対する文法性判断について
天野みどり（大妻女子大学）
4. 中級日本語コースデザインの改訂・実践報告：文型先行型から課題遂行型へ
青木裕美（アルバータ大学）
5. 上級日本語クラスにおける朗読劇の実践
デイビス早坂京子（ミドルベリー大学）
6. 学習者が求める動機付けを視点とした作文教育のかたち：型、活花、ワーク
萩原あみ（ノーザン・ブリティッシュ・コロンビア大学），ピーター・D・マックミラン（元ノーザン・ブリティッシュ・コロンビア大学）
7. 日本語学習者における叙述副詞の習得—中国語・韓国語・英語母語話者の産出—
胡娜（東京外国語大学総合国際学研究科）
8. 独習者が日本語教室に参加する理由を考える—多様な学習者が相互に学べる教室とは—
池田朋子（マギル大学）
9. 実践報告：中級日本語学習者を対象にしたプロジェクト学習
犬塚久美子（ヨーク大学）
10. 多文化交流型授業における協働作業を通して学生は何に気づくか
—ワールドカフェセッションへの分析をもとに—
鄭惠先（北海道大学）
11. 初級日本語の道具としての簡略日本語音声記号
河井道也，福井視（ヒュロン大学・ウエスタン大学），白川理恵，赤井佐和子（ヒュロン大学）
12. 中国人日本語学習者の感謝場面における言語使用
李晨昕（広島大学教育学研究科）
13. 外国ルーツ高校生の日本語作文にみられる複文の誤用分析
—話し言葉から書き言葉への橋渡しのために—
松本理美（立命館大学）
14. ビジネス場面における議事録作成能力養成のための音声教材の開発
向山陽子，村澤慶昭，村野節子，山辺真理子（武蔵野大学）
15. リテラシーと異文化間能力：異文化理解に対する外国人留学生の意識調査をもとに
永岡悦子（流通経済大学）

16. 留学体験を持つ日本語学習者4名が日本・日本語に関わり生きる径路
—複線径路・等至性アプローチによる分析—
小澤伊久美（国際基督教大学），丸山千歌（立教大学）
17. 東北地方の外国人住民を対象とした方言理解支援ツールにおける翻訳上の問題点
—東北諸方言と英語の対照研究—
斎藤敬太（津田塾大学）
18. 上級日本語学習者の接続詞の習得に関する一考察—「仮定条件」を表す接続詞を中心に—
齋藤美穂（神戸大学）
19. 実践報告：ディクトグロスで学習者は何を話し合うのか
高橋恵利子（目白大学）
20. 〈話し手を含む動作主+ますか〉文の考察—使用実態調査を生かした授業案—
東條和子（桜美林大学）
21. ノートの筆記過程をもとに分析する受講者の理解ストラテジー
渡辺文生（山形大学）
22. テモラウ文における働きかけの現れ方—使役文と比較して—
呉丹（東京外国語大学）
23. 日本語学習者の文章聴解の理解における文脈の影響—作動記憶の機能の観点から—
徐暢（広島大学）
24. 留学生による日本語教育活動における参加者の意識変化についての調査
横田隆志（北陸大学）